日本建設機械化協会
J．C．M．A．

建設の機械化

1981 年 8 月号　No. 378

目　次

□巻頭言　CONEXPO 雑感……中野　信／1
鶴見川浚渫工事実績……髙岡達行／3
北村正仁
URT 工法による取水暗渠の施工……五十嵐伊三郎／8
鳥居興彦
東海道本線野洲川橋梁の設計と施工……安村徹夫／14
前山浩一

グラビヤ――東海道本線野洲川橋梁工事

ユーカリが丘鉄道（新交通システム）の概要……鈴木　稔／22
高圧水ジェット砕岩現地実験……中川英毅／27
□随　想　建設機械化協会と加藤会長と私……三宅淳達／32
□昭和 55 年度官公庁・建設業界で採用した新機種
建設業界……佐藤裕俊／34
昭和 55 年の建設機械新機種とその傾向……杉山庸夫／52
第 32 回通常総会開催 ……／58
□新機種ニュース……調査部会／68
□文献調査
高層建築におけるタワークレーンの投入に関する研究
……文献調査委員会／72
□整備技術
コンピュータによる機械メンテナンス（その 1）……整備技術部会／75
□建設機械化研究所抄報 ≪131≫
ROPS 静載荷試験……／77
□統　計
建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
……調査部会／80
行事一覧 ……／81
編集後記 ……（古橋・梅津）／84

◀表紙写真説明▶

コマツ・超スイング
パワーショベル PC 60 U
株式会社　小松製作所

本機は超スイング（側溝掘り）機構を採用したユニークな小型パワーショベルである。レバー1本で任意のブームスイング（側溝掘り）角度が得られるので，従来むずかしいとされていた塀ぎわなどの側溝掘削もスムーズに行える。さらに，作業機最小旋回半径がミニバックホウ並みに小さいので，道幅が 7 m あれば交通を遮断することなく片車線内で掘削，積込みができる。また，すぐれた同時操作性，快適な運転室なども大きな魅力である。

≪主な仕様≫

バケット容量……0.08～0.30 m³（標準 0.25 m³）
機関出力……52 PS/2,400 rpm
最大掘削深さ……3,800 mm
運転整備重量 ……6,900 kg
バケットオフセット……左 850 mm，右 680 mm
ブーム旋回角度……左 53°，右 121°